

「親父たちの出番」で 自分も高まる！」



鹿児島市立
西紫原小学校
親父の会 会長
はせがわ たけし
長谷川 毅

た。私たち親父の会も積極的に参加し、その一助になればと考えています。

西紫原小学校親父の会は、平成16年に発足して今年で12年目を迎えます。本校の親父の会は、任意のボランティア団体ですが、昨年度49人の有志が在籍し、「少しでも子どもたちと地域のお役に立てば」と頑張っています。

作業、運動会当日のパトロールや片付けの手伝い、門松作りなどです。その他、ソフトボールにゴルフ、行事の度に反省会という名の飲み会で、会員同士はもちろんのこと、先生方ともしっかりと親睦を図りながら和気あいあいと活動しています。

任意団体ですので、活動資金はPTA主催のバザーで、野菜やフランクフルトなどを販売して調達しています。夏の愛校作業では、半数以上の会員が汗びっしょりになって学校の樹木を剪定したり、側溝にたまった桜島の灰をさらしたりします。12月に行う門松作りでは、地域の篤志家のご厚

意により、近くの竹林で竹を伐採させていただき、Bのご指導のもと、孟宗竹の上下の使い方や切り方、荒縄を使ったおめでたい梅結びの仕方など、昔ながらの手順や作法を教わり、毎年3m近い立派な門松を立てています。

また、紫原地区には紫原中学校・西紫原中学校の二つの中学校があります。この2校の学区内に紫原小学校、広木小学校、向陽小学校、西紫原小学校の四つの小学校があります。この6校が連携を図るために、「六校PTA連絡会」という会

を組織しています。各校の校長、教頭、生徒指導担当教員、PTA執行部、そして親父の会または、親父セミナーの代表者が各学期ごとに1回集まって、紫原地域の子どもたちのために何が必要か、どうすればよりよい地域を実現出来るかについて話し合いを重ねています。

今年度は、「あいさつで繋がる六校、地域の輪」を共通のテーマとし、各

また、この6校の親父の会が集まって毎年秋に、「六校親父ソフトボール大会」が開催されます。平成26年度は、時折冷たい雨の降る中ではありましたが、記念すべき第10回大会の優勝賞品の豪華焼酎をめぐり、熱い戦いが繰り広げられ、そのまま夜の延長戦へと突入していききました。

また、この6校の親父の会は、歴代の会員の積み重ねを財産に、地域や他校と連携し、また支えていただきながら活動しています。今後もさらに子どもたちや学校、地域のお役に立てるよう頑張りたいと考えています。ひいては、親父個々人の成長の糧になるうかとも考えています。

親父の会のモットーは、「楽しく、無理なく、出来る時に、出来る人が！」です。一見すると無責任な状態に陥りがちになると思われますが、さすが全員が自発的に入会している親父たちは違います。どのイベントでもだいたい20人を超える参加者があります。

主な活動

主な活動内容は、愛校



親父パワーの見せどころ（奉仕作業）

今年度は、「あいさつで繋がる六校、地域の輪」を共通のテーマとし、各



年末恒例、親父特製の大門松

親父の会紹介

発足12年目を迎える西紫原小学校親父の会は、様々な業種を持つ元気いっぱい親父たちが集う任意の団体です。各種イベントや奉仕作業への参加、それを肴にした飲みニケーションを通して、がっちりとした連携を図っています。

学校内だけでなく紫原地域の2中4小で構成される六校PTAのネットワークまで行動範囲を広げ、安心安全な地域づくりのために頑張っています。